

札幌市社会科教育連盟 夏の研修会



北海道遺産 「小樽港北防波堤」を学ぶ 100年を経て 今なお現役!



学習活動の具体

地域の人々の生活について、
次のことを見学、調査したり
年表にまとめてたりして調べ

人々の生活の変化や人々の願い、
地域の人々の生活の向上に尽くした
先人の働きや苦心を考えるようにする

「教材づくりのポイント」を説明する連盟の先生

7月30日(月)小樽港湾事務所で昨年につき2回目となる札幌市社会科教育連盟(以下「連盟」)による夏の研修会が開催されました。

これは札幌市社会科副読本「わたしたちの札幌 4年上」に、平成23年度から日本初の外洋防波堤である小樽港北防波堤が掲載されたことから、札幌市内の小学校の先生が内容をより深く学習することを目的として行われました。定員20名で募集されたところ、早々と定員に達したそうで、先生達に注目されている研修のようです。

当日は、はじめに当部職員が座学を行い、次に連盟が教材づくりのポイントを説明しました。



みなとの資料コーナーにおいて、各種資料や模型などを使用して具体的に解説

港内見学では、防波堤や岸壁などの港湾施設を見ながら説明





水深13mもある岸壁に停泊している貨物船

次に資料コーナーと港内見学に別れ、交代で港湾業務艇に乗船し、北防波堤などを見学しました。船上では先生達が、当部職員の説明を聞きながら記録撮影を盛んに行っていました。物流基地「港」の役割とともに「小樽港北防波堤」について、子ども達にわかりやすく教えるお手伝いが出来たと思います。

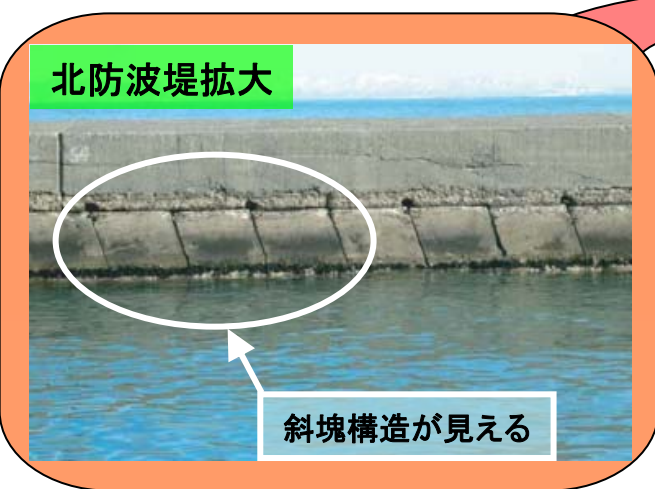


コンテナクレーン

積雪寒冷地に適応した日本初のタイヤマウント式のコンテナクレーン



日本一大きな豪華客船「飛鳥II」が停泊



北防波堤拡大

斜塊構造が見える



北海道遺産「小樽港北防波堤」を撮影する先生

北防波堤のおかげで港内は波もなく、ゆっくりと見学できました



北防波堤工事中

小樽港について詳しくは[コチラ](#)



札幌市社会科副読本4年生に掲載されています